

化学品部会

2015年の回顧と2016年の展望

副題：「景気低迷期だから見えてくるビジネス機会
～経済回復期はいつか？日系企業はどう備えるか？～」

2016年2月25日

化学品部会アンケート

「2015年の回顧と2016年の展望」

アンケート依頼：55社（者）

27社・35回答

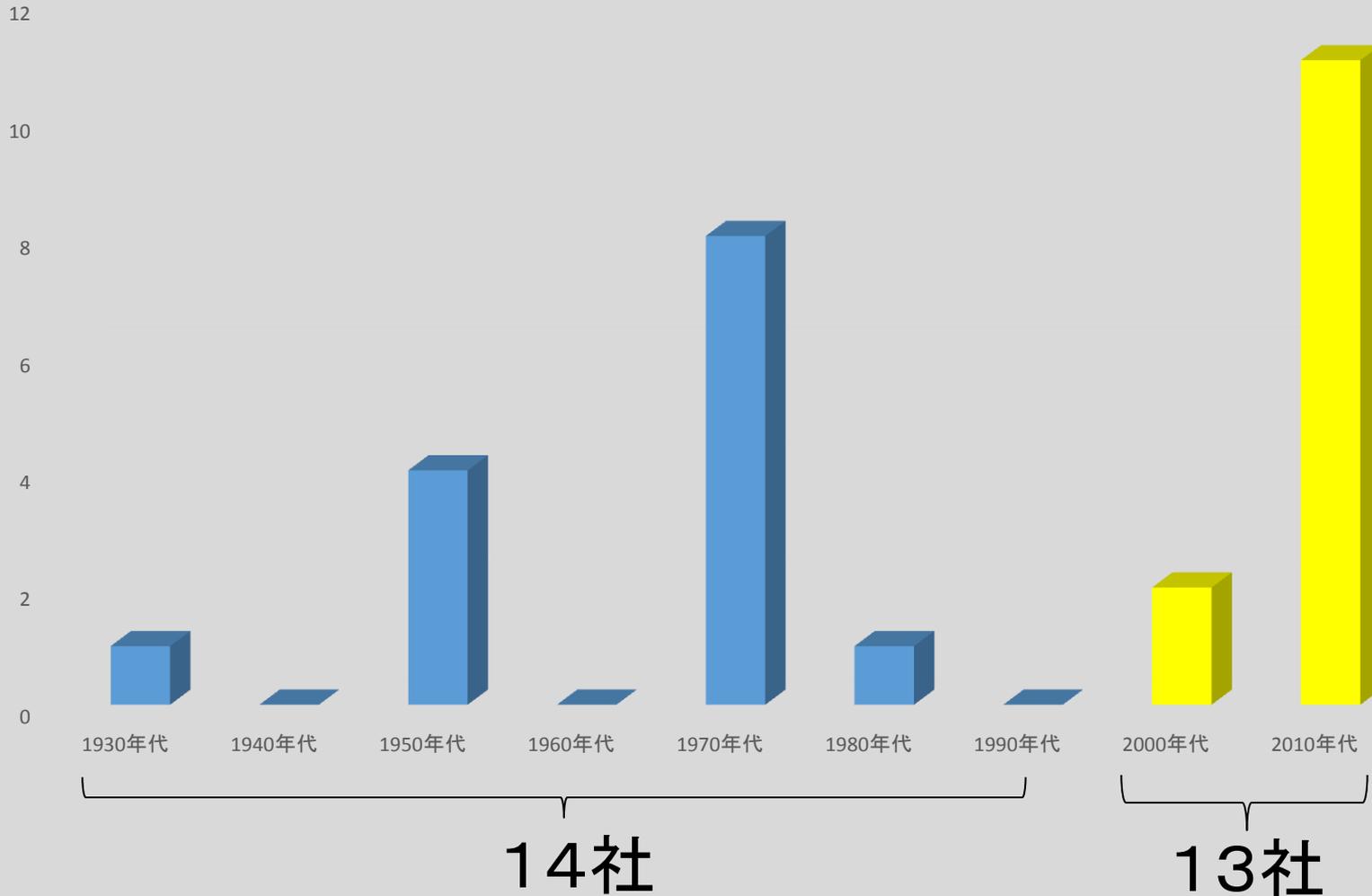
（一部複数回答あり）

化学品部会 会員企業・団体

Adeka Brasil	Mitsubishi Corporation do Brasil	
Azbil do Brasil	Mitsui & Co.(Brasil)	
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil	Mitsui Chemicals do Brasil	
Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro	Miura Boiler do Brasil	
Bridgestone do Brasil	Nagase do Brasil	会員55社(者)
Celulose Nipo-Brasileira(Cenibra)	Nagawa do Brasil	27社35回答
Daicolor do Brasil	Nichino do Brasil	
EPCOS do Brasil	Nisso Brasileira	
FUJIFILM do Brasil	Okaya do Brasil	
Harima do Brasil	Otsuka Ind. Prods. Químicos do Brasil	
Hisamitsu Farmacêutica do Brasil	Pigeon Produtos Infantis	
Honda Lock São Paulo	Pilot Pen do Brasil	
Idemitsu Lube South America	Rohto do Brasil	
Inabata Brasil	Shin-Etsu do Brasil	
Itochu Brasil S.A.	Shiseido do Brasil	
JETRO, São Paulo	Sociedade Coml. Toyota Tsusho do Brasil	
JICA (São Paulo)	Sojitz do Brasil	
JX Nippon Oil & Energy Brasil	Sumitomo Chemical do Brasil	
Kaneka South America	Sumitomo Corporation do Brasil	
K-I Chemical do Brasil	Takasago Fragrâncias e Aromas	
Kisco do Brasil	Three Bond do Brasil	
Kito do Brasil	Toray do Brasil	
Kuraray South America	Toyo Ink Brasil	
Kurashiki Chemical Products do Brasil	Toyobo do Brasil	
Kurita do Brasil	UBE Latin America	
Kyocera do Brasil	Ueno Profit Assessoria	
Marubeni Brasil	Unicharm do Brasil	
Midori Atlântica Brasil		

会員（企業・団体）の創業年

回答を得た27社では、2000年より前と後でほぼ50:50



14社

13社

新旧が混在

創業年代による景況比較:27社

2015売上	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
増加	1	0	1	0	2	0	0	0	7
不変	0	0	0	0	0	0	0	1	0
減少	0	0	3	0	6	1	0	1	4
合計	1	0	4	0	8	1	0	2	11

2015利益	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
増加	1	0	0	0	2	0	0	1	6
不変	0	0	1	0	1	0	0	0	2
減少	0	0	3	0	5	1	0	1	3
合計	1	0	4	0	8	1	0	2	11

2016売上	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
増加	1	0	3	0	2	1	0	0	6
不変	0	0	1	0	3	0	0	1	1
減少	0	0	0	0	3	0	0	1	4
合計	1	0	4	0	8	1	0	2	11

2016利益	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
増加	1	0	2	0	2	1	0	0	5
不変	0	0	2	0	3	0	0	1	3
減少	0	0	0	0	3	0	0	1	3
合計	1	0	4	0	8	1	0	2	11

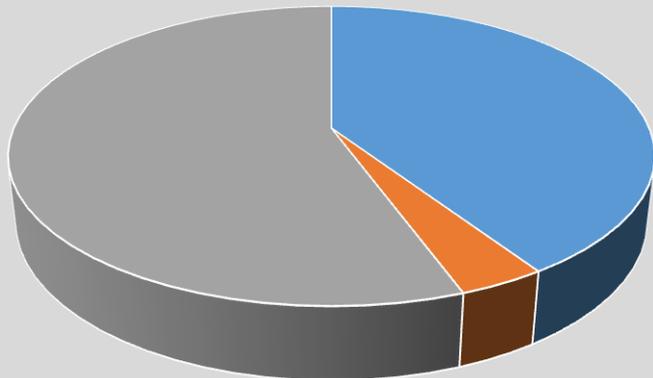
バラツキはあるが、若い企業健闘

化学品部会27社合計

2015年の回顧

売上

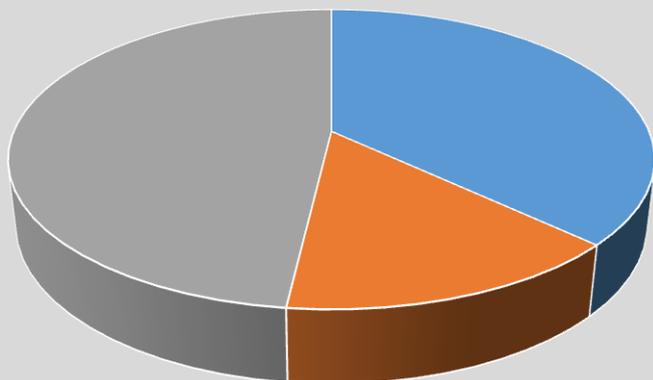
2015売上



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

利益

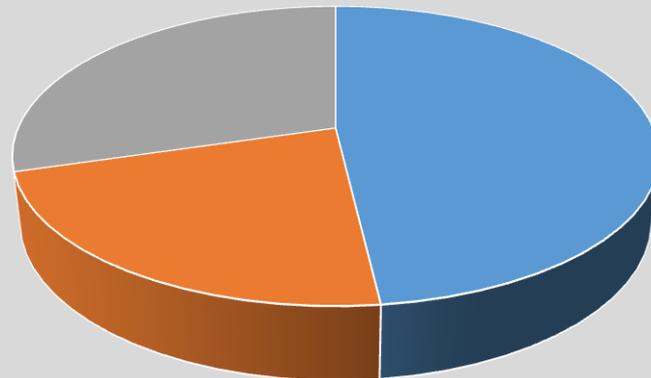
2015利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

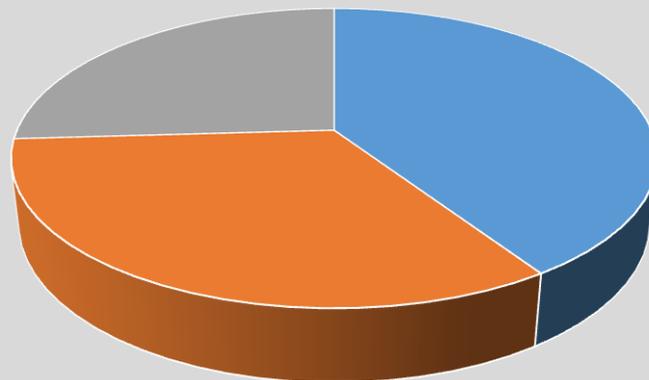
2016年の展望

2016売上



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2016利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

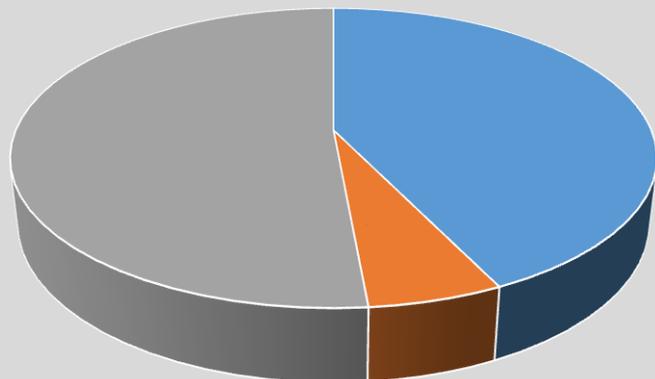
2016年は、前年よりもやや前向き？（底打ち？）

化学品部会35回答合計

2015年の回顧

売上

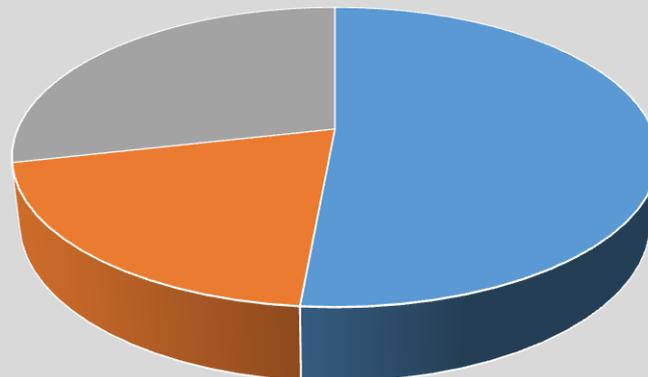
2015売上



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2016年の展望

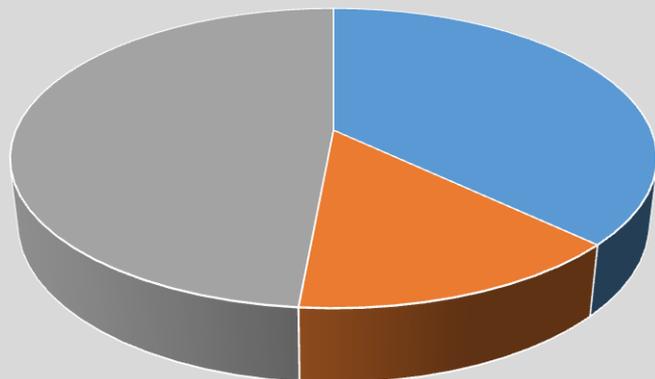
2016売上



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

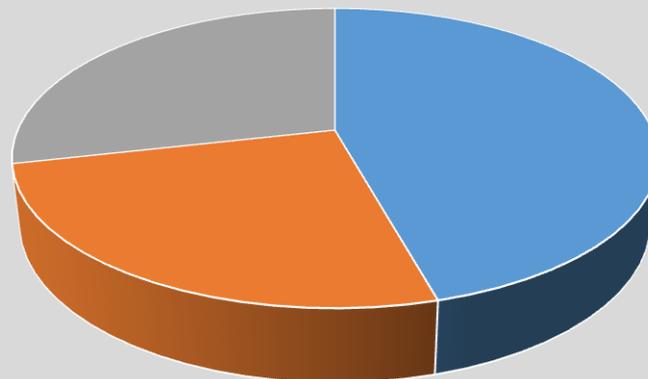
利益

2015利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2016利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2016年は、前年よりもやや前向き？（底打ち？）

35回答(27社)の事業内訳

生産財／B to B : 31回答

消費財／B to C : 4回答

Daicolor do Brasil

FUJIFILM do Brasil①

FUJIFILM do Brasil②

Harima do Brasil

Idemitsu Lube South America

Inabata Brasil

Kaneka South America

K-I Chemical do Brasil

Kuraray South America

Kurashiki Chemical Products do Brasil

Kyocera do Brasil

Marubeni Brasil

Mitsubishi Corporation do Brasil

Mitsui Chemicals do Brasil①

Mitsui Chemicals do Brasil②

Mitsui Chemicals do Brasil③

Miura Boiler do Brasil

Nagase do Brasil

Nisso Brasileira

Otsuka Ind. Prods. Químicos do Brasil

Sumitomo Chemical do Brasil①

Sumitomo Chemical do Brasil②

Sumitomo Chemical do Brasil③

Takasago Fragrâncias e Aromas

Three Bond do Brasil

Toray do Brasil

Toyo Ink Brasil

Toyobo do Brasil①

Toyobo do Brasil②

UBE Latin America①

UBE Latin America②

FUJIFILM do Brasil③

Hisamitsu Farmacêutica do Brasil

Pilot Pen do Brasil

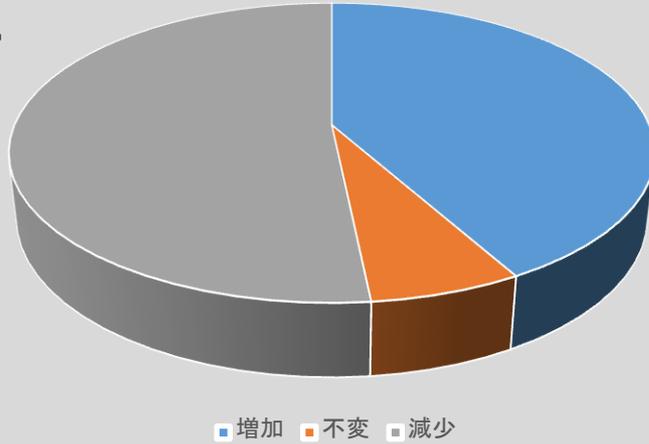
Rohto do Brasil

生産財／B to B 31回答

2015年の回顧

2015売上

売上

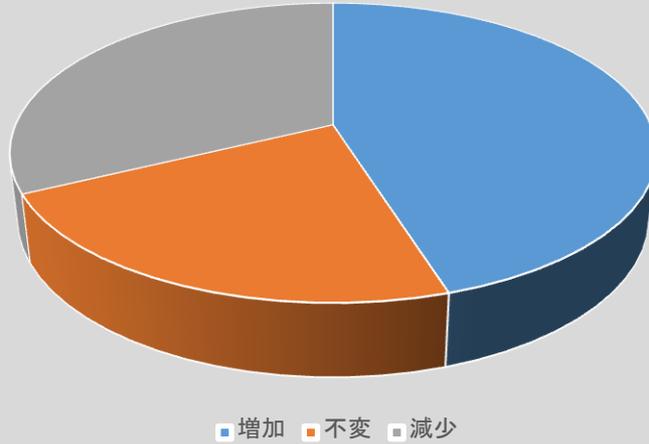


■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2016年の展望

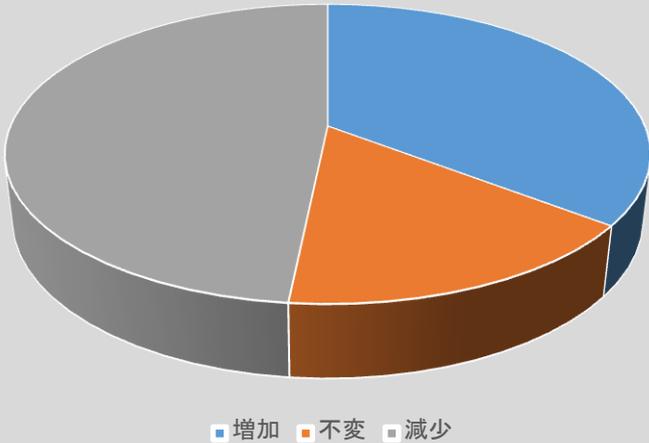
2016売上

利益



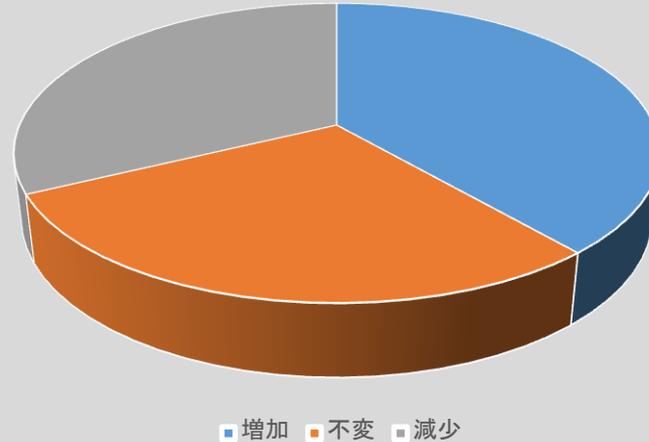
■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2015利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2016利益

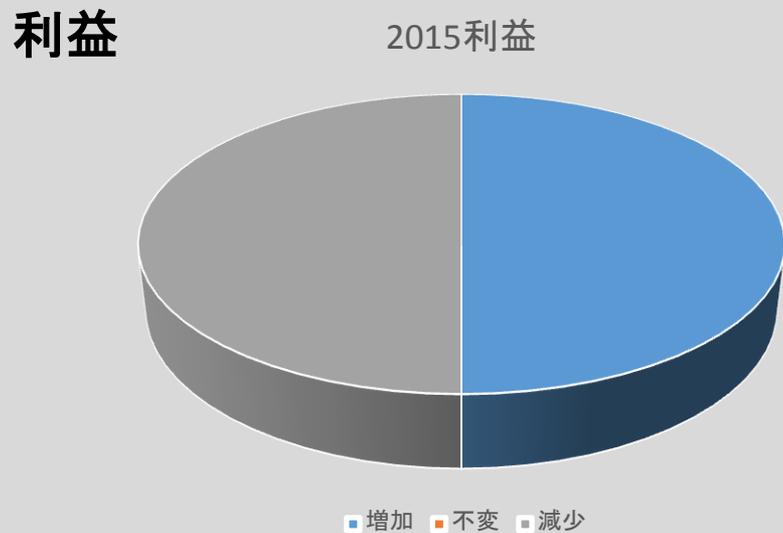
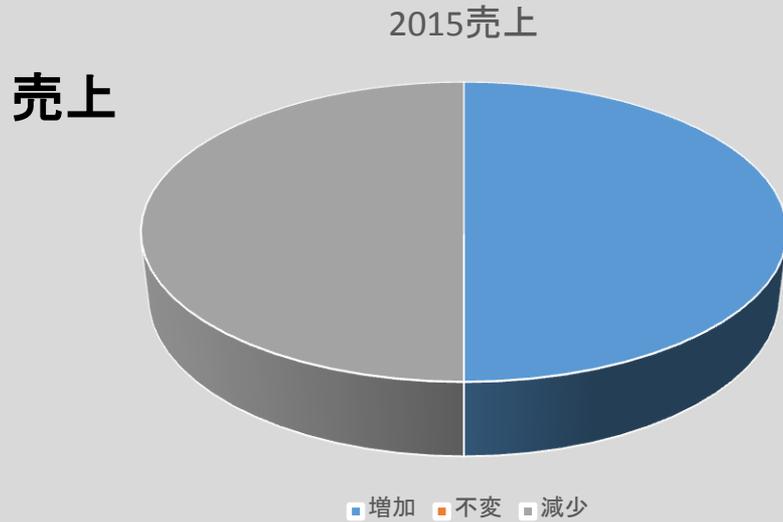


■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

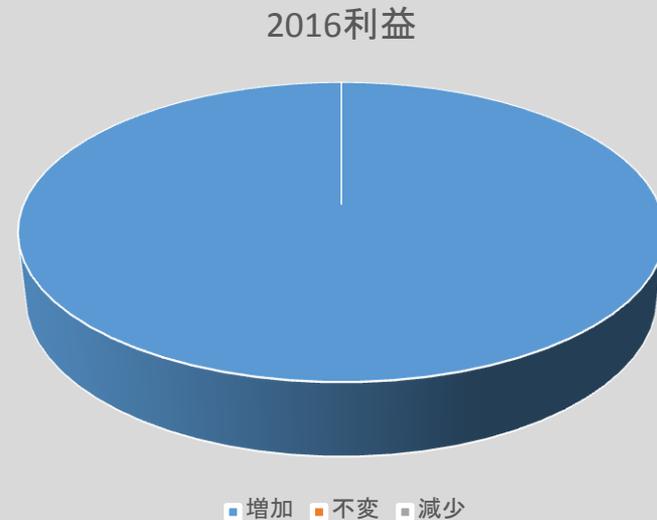
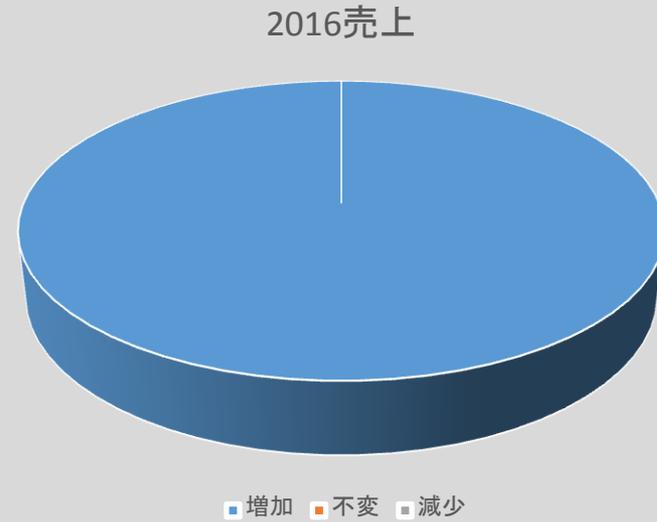
2016年は、売上・利益を前年同様とする企業が増加

消費財／B to C 4回答

2015年の回顧



2016年の展望



2016年は、売上・利益ともに改善を見込む

景況の理由(2015回顧)

プラス要因

<自社に起因すること>

- ・新規顧客開拓 : 12
- ・設備投資・能力UP : 4
- ・新製品投入・差別化 : 3
- ・コストDOWN : 3
- ・その他 : 6

※その他は、買収、流通政策の変更、値上げ、
現地社員の士気向上など

<外部環境に起因すること>

- ・為替レート : 7
- ・その他 : 9

※その他は、競合衰退、天候、原料価格の低下、
感染症の流行など

マイナス要因

<自社に起因すること>

- ・(少数意見) : 2

※販売費減、生産性が低い

<外部環境に起因すること>

- ・売れない(不況、在庫過多) : 24
- ・為替レート : 18
- ・競合激化・販価下落 : 8
- ・コストUP(インフレなど) : 8
- ・高金利 : 6
- ・与信不安 : 3
- ・その他 : 6

※その他は、天候、人材不足、設備不具合など

景況の理由(2016展望)

プラス要因

<自社に起因すること>

- ・新規顧客開拓 : 13
- ・新製品投入 : 5
- ・設備投資・能力UP : 5
- ・コストDOWN : 4
- ・その他 : 2

※その他は、流通政策の変更、パートナーとの協力強化

<外部環境に起因すること>

- ・為替レート : 6
- ・原燃料価格の安定 : 3
- ・その他 : 11

※その他は、市場回復、競合衰退、感染症の流行など

マイナス要因

<自社に起因すること>

- ・(少数意見) : 2

※期ズレ、製品構成の変更

<外部環境に起因すること>

- ・売れない(不況、在庫過多) : 18
- ・為替レート : 15
- ・競合激化・販価下落 : 6
- ・コストUP(インフレなど) : 6
- ・高金利 : 5
- ・与信不安 : 3
- ・天候 : 1

景気低迷期だから見えてくるビジネス機会

～経済回復期はいつか？日系企業はどう備えるか？～

景況の理由(まとめ＝結論)

- ✓ 景気低迷、レアル安、インフレ、高金利、競合状況など **厳しい事業環境** にさらされながらも、
- ✓ 新規顧客開拓、新製品投入、設備投資、コスト削減など **各社(者)の不断の努力** によって、
- ✓ ブラジルにおける事業の継続・拡大に努力することが重要である。

各社(者)の不断の努力が確実に実を結ぶために・・・

ブラジルで改善すべき課題は何か？

(35回答、複数回答あり)

- ✓ 課税 : 30 (85.7%)
- ✓ 労働 : 27 (77.1%)
- ✓ 通関 : 13 (37.1%)
- ✓ インフラ : 13 (37.1%)
- ✓ 産業競争力
 ／中小企業育成 : 13 (37.1%)
- ✓ その他 : 7

(政治安定、通貨安定、司法制度、技術振興、観光振興)

景気低迷期だから見えてくるビジネス機会

～経済回復期はいつか？日系企業はどう備えるか？～

その他、各社(者)のコメント 1/2

◆複雑で高い税金は製品競争力を削いでいる。給料を下げられないルールは労働者にとっても良くない(人件費削減は首切りとなる)。ブラジル政権が変われば、景気の風は変わる。逆に労働党政権あと3年続く限りにおいては経済もこのまま停滞継続。2017～18年で底を打つ。それまではじっと耐えること。

◆厳しすぎて、もう瀬戸際です。

景気低迷期だから見えてくるビジネス機会

～経済回復期はいつか？日系企業はどう備えるか？～

その他、各社(者)のコメント 2/2

- ◆積極的な企業買収の好機と捉え、新規買収検討を進めるべき。
- ◆●●社(企業名)としての本来の事業目的である新規事業探索からすると、景気低迷期こそ事業機会があるとの信念で、探索活動に注力したい。
- ◆景気低迷で消費者の品質に対する要求は厳しくなるので、日本製品の性能・耐久性、アフターサービスの充実など、長所を生かしマーケットシェアの拡大に注力する。
- ◆この時期に市場調査や需要家への高機能品の売り込みを強化し、景気回復後の事業拡大につなげる。
- ◆社員への教育・研修の機会を増やし、知識及びスキルの向上を図ることにより、会社運営の質の向上、営業力の強化につなげる。

ご清聴ありがとうございました。

化学品部会